

達成状況評価書(平成24年度)

部局名: 医学部附属病院

項目	コメント
附属病院に関する項目 (大学の年度計画: 14~16)	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>(1) 教育・研究面 平成24年度は、未来医療センターと臨床試験部とを発展的に統合し、先進的医療技術の開発、評価をする部署として、8月に未来医療開発部を設置することにより、トランスレーショナルリサーチの支援体制を構築したこと、大学病院連携型専門医療養成事業による循環型の医師キャリア形成システムが順調に構築されていること、現場の医療従事者の医療安全能力の向上のための視聴覚教材を複数の医療機関に配布したことなど大学の年度計画の達成に貢献している。</p> <p>(2) 診療面 平成24年度は、他施設との遠隔相談システムの接続が実現し、不足する高度な診療リソースを有効に補う遠隔診療支援を行ったほか、呼吸器センターとてんかんセンターを設置し、また、改正臓器移植法に基づき、厳格な脳死判定基準を適用して、小児をドナーとする心臓移植手術を国内で初めて行い成功するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。</p> <p>(3) 運営面 平成24年度は、平成23年度と比較して約9億円の増収を実現し、過去最高の収入額を更新した結果、平成24年度から交付を受けないこととされている病院運営費交付金削減の影響を受けることなく健全な病院運営を行うなど、特筆すべき取り組みを行い、大学の実績として評価できる。また、災害対策室、患者サービス企画室を設置するとともに、平成25年4月に、病院の施設整備に対する取り組みを推進する病院再開発企画整備室を設置するための準備を行うなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 売店及び食堂については、随意契約の見直し計画を策定し、改善を図っていることは評価できるが、今後も計画に示されたスケジュールに従い、着実に実行されたい。</p>
全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p>